

# 第二回 石橋お花見市

松江でも有名な石橋町千手院のしだれ桜。松江城下のソメイヨシノよりも開花がほんの少し早く、松江の春の訪れを教えてくれる桜です。開花の時期にはたくさんの方が訪れます。その開花にあわせ、打立ての出雲そば、お弁当、パン、湯豆腐、蔵出しの地酒、手塩にかけたお惣菜、お茶、和物、雑貨など、石橋町産の自慢の逸品が集まります。そんな逸品を両手に抱えてしだれ桜の木の下へ、ここでしか体験できない「ちょっと贅沢なお花見」をはじめましょう！



## 千手院のしだれ桜

千手院は、堀尾吉晴(ほりおよしはる)公が松江に新たに城を築くにあたって、本丸の地を清めて鬼門を封じるため、慶長13年(西暦1608年)にそれまでの居城であった富田城下(広瀬)から移したと伝えられるお寺で、その後も堀尾、京極、松平の歴代藩主の祈願所となりました。

境内に咲く「しだれ桜」は、樹齢200年以上、幹周約2.7メートル、樹高約11メートル、枝張りが約10メートルもある県内有数の大木で、江戸時代末に藩士の三上という人が植えたと言われています。

平成10年、松江市の天然記念物に指定されました。(参考:2004.3 松江市広報)

### 当日のお越しについて(お願い)

- ・車でお越しの方は、城北公民館の駐車場をご利用ください。ただし駐車台数に限りがあり、また地元のお酒等を楽しんでいただきたく、極力公共交通機関等ご利用をお願いいたします。
- ・当日の逸品にはいずれも数に限りがございます。品切れの際には、どうぞご容赦ください。
- ・町内の道路は特に交通規制等行いませんので、事故等にはくれぐれもご注意ください。